

# 商工会議所 L O B O ( 早期景気観測 )

## — 2 0 0 8 年 9 月 調査結果 —

2 0 0 8 年 9 月 3 0 日  
日 本 商 工 会 議 所

### < 結果のポイント >

- 9月の全産業合計の業況DIは▲61.2と、02年2月以来、6年半ぶりの低水準となる厳しい結果となった。また、全産業合計の採算DIは▲57.7と、98年12月以来の水準。仕入価格の上昇や受注の減少などの影響により、企業経営は自助努力を超えた、かなり厳しい状況となっている。
- 引き続き、原油・原材料価格の更なる上昇に伴う採算・収益の悪化や、食料品をはじめとする諸物価高騰の影響による、消費者の購買意欲の低下を訴える声強い。
- 厳しい経営状況が続く中で、資金繰りの悪化、人員整理や倒産・廃業などを訴える声が、前月にも増して寄せられている。

☆ L O B O 調査は、地域における毎月の景気動向を調査するものであり、当該月の景況に係る調査結果を最も早く集計・公表しております（1989年4月調査開始）。

◇ 調査期間：2008年9月16日～22日

◇ 調査対象：全国の404商工会議所が2580業種組合などにヒアリング  
(内訳) 建設業 381 製造業 616 卸売業 235  
小売業 738 サービス業 610

◇ 調査項目：今月の業況・売上・採算などについての状況（DI値を集計）および業界として当面する問題など

※ DI値（景況判断指数）について

DI値は、業況・売上・採算などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。したがって、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景況感の相対的な広がりを意味する。

DI = (増加・好転などの回答割合) - (減少・悪化などの回答割合)  
業況・採算：(好転) - (悪化)      売上：(増加) - (減少)

【本件担当】産業政策部 TEL:03-3283-7836  
E-Mail:sangyo@jcci.or.jp

本調査結果は日商ホームページ (<http://www.jcci.or.jp>)でもご覧になれます。

## 【2008年9月調査結果の概要】

### 業況DIは6年ぶり、採算DIは10年ぶりの低水準

- 9月の景況をみると、全産業合計の業況DI（前年同月比ベース、以下同じ）は、前月水準（▲58.8）よりマイナス幅が2.4ポイント拡大して▲61.2となり、02年2月以来の水準となった。

産業別の業況DIは、卸売で縮小、建設でほぼ横ばいだったものの、他の3業種は拡大した。

景気に関する声、当面する問題としては、製造など一部に好調（中国製食品の敬遠に伴う国産品への需要増、鉄鋼・機械関係や造船等）、先行き期待という声があるものの、各種原材料価格上昇の影響により、収益面では厳しい状況。また、仕入価格の高騰に伴う採算の悪化、消費の低迷による売上の減少などを訴える声が依然として強い。

各業界から寄せられた特徴的なコメントは以下のとおり。

#### 【建設業 ～売上DIは03年1月以来の低水準、採算DIも厳しい状況～】

- ・「月に2～3件の廃業・倒産が発生するなど、業界全体に危機感がある」（一般工事業）
- ・「中堅ゼネコン倒産の影響により、地元建設資材会社が連鎖倒産、同社から資材を納入していた業者が調達先を探すのに苦労している」（一般工事業）
- ・「受注の減少が続く一方、材料費の高騰に伴い、採算が悪化」（建築工事業）

#### 【製造業 ～売上DIは02年10月、採算DIは02年2月以来の低水準～】

- ・「資材価格の上昇など、依然、厳しい状況が続いており、資金繰りも悪化」（製材木製品製造業）
- ・「受注量がますます減少しており、従業員の解雇も発生」（金属加工機械製造業）
- ・「原材料の高騰が経営を圧迫し、年末までにかなり倒産が増える見込み」（金属加工機械製造業）

#### 【卸売業 ～従業員DIは03年6月以来の低水準～】

- ・「商社、メーカー共に業況は悪化しており、廃業、倒産が相次いで発生するなど、先行きの見通しが見えない状況」（家具・建具等卸売業）
- ・「諸経費の上昇に伴う資金不足により、資金繰りの悪化した店舗が増加」（農畜産水産物卸売業）
- ・「9月に入り原油価格も若干下がったが、地域によっては小売価格がそれ以上に下落し、採算は悪化」（化学製品卸売業）

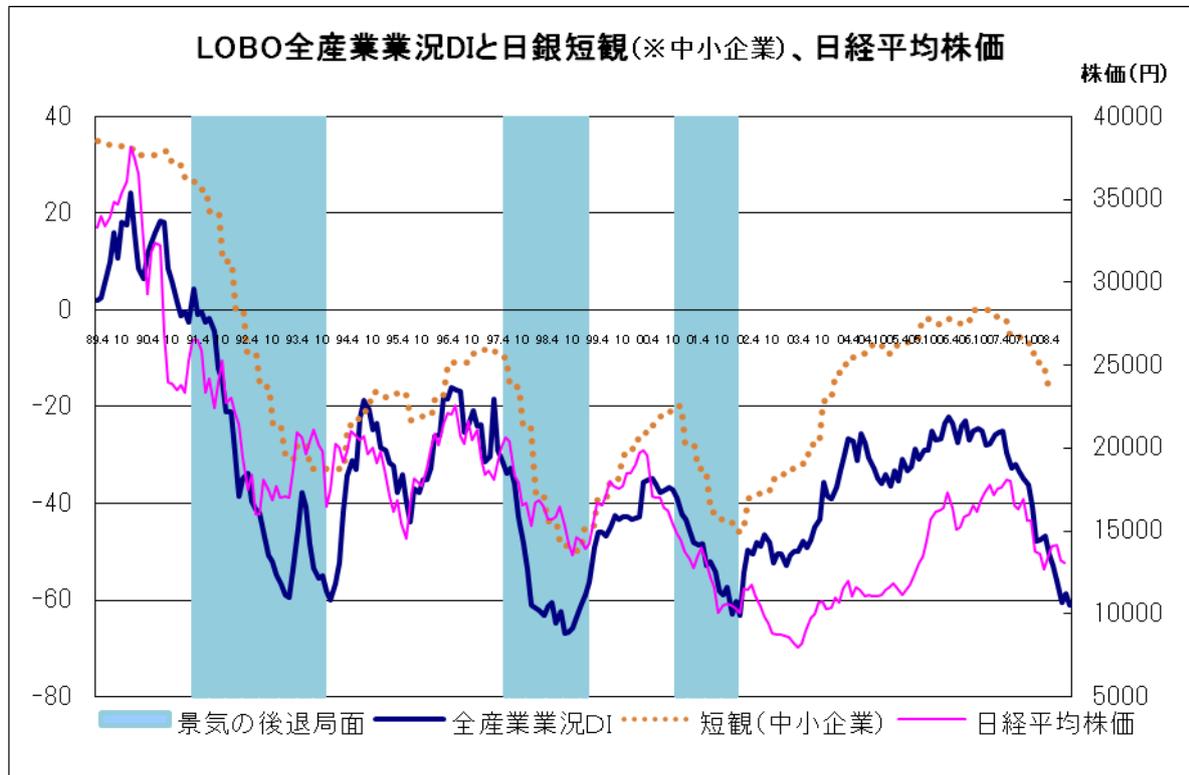
#### 【小売業 ～仕入単価DIは最悪値を記録～】

- ・「依然として仕入単価が高水準で推移しているため、売上が順調でも採算は好転しない状況がしばらく続く見込み」（百貨店）
- ・「生活必需品以外の売上悪化に加え、購入単価の低下が続き、収益は減少」（その他の小売業）
- ・「老舗の有力店が倒産、他にも撤退を考えている店があるなど、厳しい状況」（商店街）

#### 【サービス業 ～業況DIは98年12月以来の低水準～】

- ・「盆明けから予約客数が激減、現在も同じ状況が続いており、大幅な売上悪化で厳しい状況」（食堂・レストラン）

- ・「今月は週末も売上の低迷が続いており、廃業する店舗も発生」（一般飲食店）
- ・「低料金店の進出で競争が激化し、閉店も発生するなど業況は最悪」（理容）



※短観（中小企業）：資本金2千万円以上の企業が調査対象

【業況についての判断】

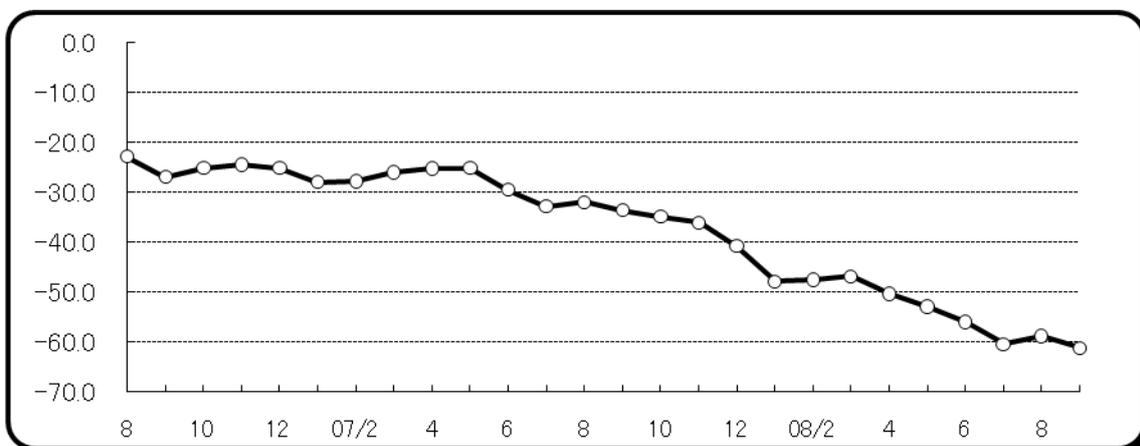
- 9月の景況をみると、全産業合計の業況D I（前年同月比ベース、以下同じ）は、前月水準（▲58.8）よりマイナス幅が2.4ポイント拡大して▲61.2となり、02年2月以来の水準となった。
- 産業別にみると、D I値のマイナス幅は卸売で縮小、建設でほぼ横ばいだったものの、他の3業種は拡大した。中でも、小売は02年2月、サービスは98年12月以来の低水準。
- 向こう3カ月（10月～12月）の先行き見通しについては、全産業合計の業況D I（今月比ベース）が▲54.6と、昨年同時期の先行き見通し（▲27.1）に比べて27ポイント以上悪化している。
- 産業別にみても、すべての業種で昨年同時期の先行き見通しに対し、16ポイント以上マイナス幅が拡大している。

業況D I（前年同月比）の推移

	08年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	先行き見通し 10～12月
全産業	▲50.4	▲52.9	▲56.0	▲60.5	▲58.8	▲61.2	▲54.6 (▲27.1)
建設	▲64.6	▲65.0	▲67.7	▲73.2	▲71.4	▲70.8	▲61.2 (▲45.2)
製造	▲43.1	▲49.0	▲52.4	▲61.3	▲55.4	▲59.8	▲52.4 (▲23.0)
卸売	▲53.6	▲49.1	▲52.6	▲64.5	▲64.7	▲59.7	▲49.0 (▲25.2)
小売	▲52.8	▲52.6	▲57.7	▲54.4	▲58.9	▲59.2	▲54.8 (▲27.2)
サービス	▲44.4	▲50.6	▲51.2	▲56.8	▲51.4	▲59.7	▲54.6 (▲20.0)

※「先行き見通し」は当月に比した向こう3カ月の先行き見通しD I  
（ ）内は昨年9月の先行き見通しD I <以下同じ>

《業況D I（全産業・前年同月比）の推移》



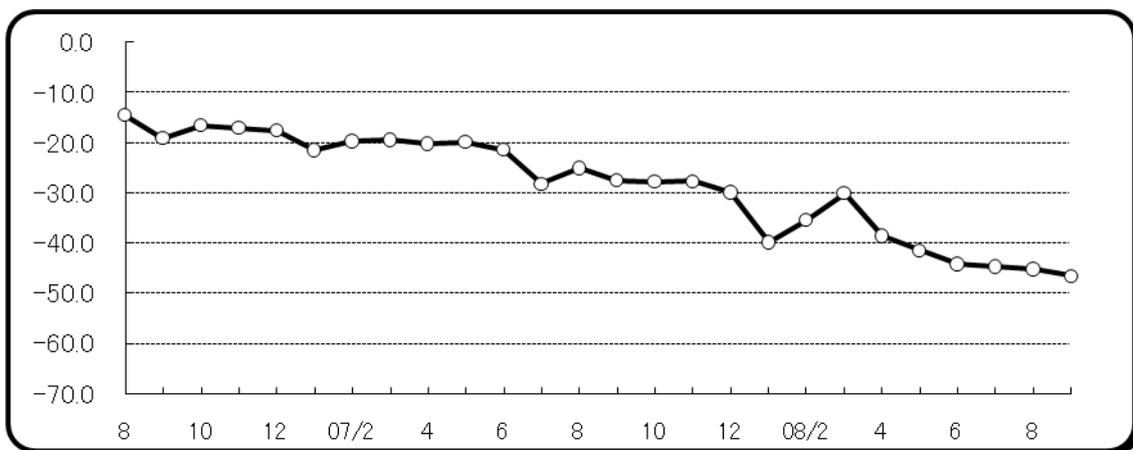
【売上（受注・出荷）の状況についての判断】

- 売上面では、全産業合計の売上D Iは、マイナス幅が1.3ポイント拡大して▲46.5となり、6カ月連続で悪化した（03年1月以来の低水準）。産業別にみると、D I値のマイナス幅は卸売、小売で縮小したものの、他の3業種で拡大した。中でも、建設は03年1月、製造は02年10月以来の低水準。
- 向こう3カ月（10月～12月）の先行き見通しについては、全産業合計の売上D I（今月比ベース）が▲41.8と、昨年同時期の先行き見通し（▲18.8）に比べ23ポイント悪化している。
- 産業別に昨年同時期の先行き見通しと比較した場合、すべての業種で13ポイント以上マイナス幅が拡大している。

売上（受注・出荷）D I（前年同月比）の推移

	08年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	先行き見通し 10～12月
全産業	▲38.6	▲41.5	▲44.1	▲44.6	▲45.2	▲46.5	▲41.8 (▲18.8)
建設	▲54.3	▲58.6	▲62.2	▲62.6	▲58.9	▲63.1	▲53.0 (▲40.0)
製造	▲25.5	▲29.9	▲33.0	▲39.7	▲41.0	▲41.6	▲39.2 (▲11.1)
卸売	▲42.1	▲33.1	▲39.2	▲42.6	▲46.0	▲43.6	▲34.9 (▲15.8)
小売	▲42.0	▲46.5	▲48.7	▲39.9	▲47.3	▲44.0	▲43.7 (▲19.9)
サービス	▲36.4	▲39.9	▲40.2	▲44.5	▲37.6	▲45.4	▲37.9 (▲12.9)

《売上（受注・出荷）D I（全産業・前年同月比）の推移》



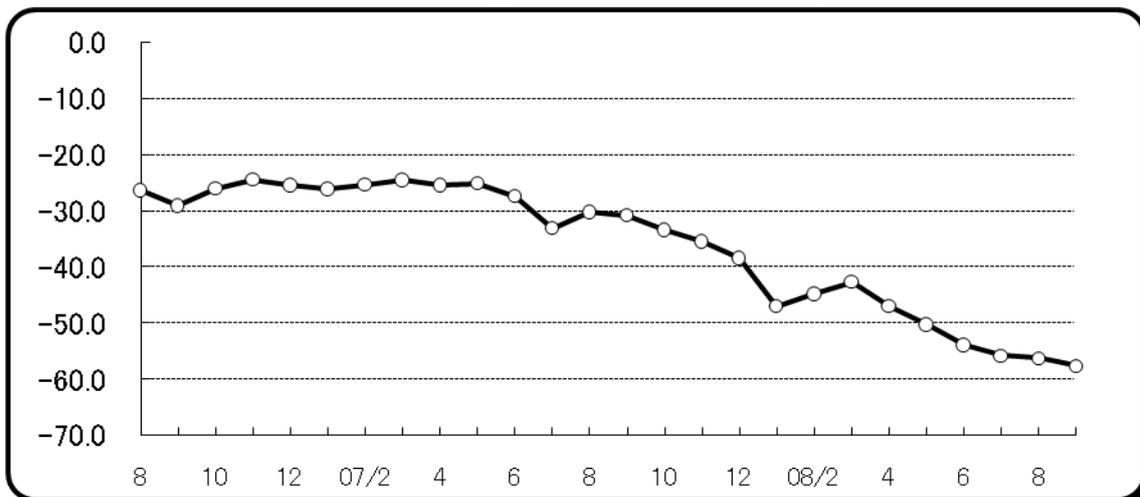
【採算の状況についての判断】

- 採算面では、全産業合計の採算D Iは、マイナス幅が1.3ポイント拡大して▲57.7となり、6カ月連続で悪化した（98年12月以来の低水準）。産業別にみると、D I値のマイナス幅は卸売で縮小したものの、他の4業種で拡大した。中でも、製造は02年2月以来、小売は99年2月以来の低水準。
- 向こう3カ月（10月～12月）の先行き見通しについては、全産業合計の採算D I（今月比ベース）が▲49.5と、昨年同時期の先行き見通し（▲25.0）に比べて24ポイント以上悪化している。
- 産業別に昨年同時期の先行き見通しと比較した場合、すべての業種で18ポイント以上マイナス幅が拡大している。

採算D I（前年同月比）の推移

	08年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	先行き見通し 10～12月
全産業	▲47.1	▲50.4	▲54.0	▲55.9	▲56.4	▲57.7	▲49.5 (▲25.0)
建設	▲61.4	▲63.5	▲70.9	▲70.1	▲70.4	▲70.8	▲59.5 (▲40.6)
製造	▲46.1	▲50.6	▲54.4	▲58.1	▲59.0	▲60.9	▲49.7 (▲24.9)
卸売	▲41.7	▲39.9	▲44.2	▲49.0	▲55.3	▲51.7	▲42.3 (▲15.8)
小売	▲42.7	▲46.9	▲48.2	▲46.8	▲49.2	▲51.5	▲47.0 (▲23.6)
サービス	▲45.9	▲50.0	▲53.0	▲57.9	▲53.0	▲55.7	▲48.9 (▲20.1)

《採算D I（全産業・前年同月比）の推移》



(参考)

資金繰りD I (前年同月比) の推移

	08年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	先行き見通し 10~12月
全産業	▲ 30.3	▲ 31.0	▲ 31.9	▲ 37.8	▲ 37.2	▲ 37.9	▲ 36.2 (▲ 19.2)
建設	▲ 43.5	▲ 47.6	▲ 46.6	▲ 52.3	▲ 56.3	▲ 52.0	▲ 46.9 (▲ 34.1)
製造	▲ 25.3	▲ 31.3	▲ 34.2	▲ 36.0	▲ 37.7	▲ 38.2	▲ 37.8 (▲ 16.9)
卸売	▲ 28.8	▲ 24.3	▲ 27.5	▲ 32.2	▲ 32.2	▲ 30.5	▲ 30.5 (▲ 15.1)
小売	▲ 30.0	▲ 24.9	▲ 26.2	▲ 31.2	▲ 32.7	▲ 30.8	▲ 29.0 (▲ 18.0)
サービス	▲ 27.7	▲ 29.4	▲ 27.5	▲ 39.9	▲ 30.5	▲ 39.6	▲ 38.1 (▲ 14.5)

D I = (好転の回答割合) - (悪化の回答割合)

【前年同月比D I】全産業合計の資金繰りD Iは2カ月ぶりに悪化した(03年2月以来の低水準)。産業別にみると、D I値のマイナス幅は、建設、卸売、小売で縮小したものの、他の2業種では拡大した。

【先行き見通しD I】全産業合計は悪化が強まる見通し。産業別にみても、すべての業種で悪化が強まる見通し。

仕入単価D I (前年同月比) の推移

	08年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	先行き見通し 10~12月
全産業	▲ 55.9	▲ 55.7	▲ 59.8	▲ 59.4	▲ 60.9	▲ 58.0	▲ 48.5 (▲ 30.6)
建設	▲ 67.2	▲ 70.1	▲ 71.5	▲ 70.4	▲ 71.3	▲ 62.5	▲ 48.1 (▲ 39.0)
製造	▲ 63.5	▲ 63.2	▲ 68.1	▲ 65.4	▲ 70.4	▲ 64.2	▲ 49.6 (▲ 38.9)
卸売	▲ 44.1	▲ 45.7	▲ 48.7	▲ 51.0	▲ 46.7	▲ 45.6	▲ 40.5 (▲ 27.8)
小売	▲ 49.0	▲ 48.2	▲ 52.6	▲ 52.8	▲ 53.7	▲ 54.6	▲ 48.7 (▲ 23.2)
サービス	▲ 53.4	▲ 51.2	▲ 56.1	▲ 57.0	▲ 58.4	▲ 57.7	▲ 50.6 (▲ 26.5)

D I = (下落の回答割合) - (上昇の回答割合)

【前年同月比D I】全産業合計の仕入単価D Iは、▲ 58.0となり、前月から低水準で推移。産業別にみると、仕入単価の上昇感は、小売で調査開始以来、最悪値を記録、他の4業種も引き続き低水準で推移している。

【先行き見通しD I】全産業合計は上昇感が強まる見通し。産業別にみても、すべての業種で上昇感が強まる見通し。

従業員D I（前年同月比）の推移

	08年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	先行き見通し 10～12月
全産業	▲ 3.8	▲ 6.5	▲ 7.9	▲ 9.0	▲ 8.1	▲ 7.6	▲ 7.4 (▲ 2.1)
建設	▲ 20.9	▲ 21.3	▲ 25.6	▲ 28.0	▲ 28.6	▲ 25.8	▲ 22.0 (▲ 12.1)
製造	▲ 3.8	▲ 6.2	▲ 9.1	▲ 9.8	▲ 7.7	▲ 8.0	▲ 7.2 (▲ 6.1)
卸売	▲ 6.6	▲ 6.7	▲ 10.4	▲ 13.5	▲ 14.0	▲ 14.3	▲ 13.5 (▲ 9.3)
小売	2.0	0.6	0.2	▲ 2.6	▲ 1.4	0.5	▲ 2.3 (7.0)
サービス	1.6	▲ 5.4	▲ 3.1	▲ 1.3	0.0	▲ 2.3	▲ 1.7 (0.9)

$$D I = (\text{不足の回答割合}) - (\text{過剰の回答割合})$$

【前年同月比D I】全産業合計の従業員D Iは前月からほぼ横ばい。産業別にみると、D I値は製造、卸売、サービスで過剰感が強まる一方、建設で過剰感が弱まり、小売で不足に転じた。

【先行き見通しD I】全産業合計は過剰感が強まる見通し。産業別にみても、小売、サービスで過剰感に転じ、他の3業種は過剰感が強まる見通し。

【2008年9月の景気キーワード】

○ 更なる悪化への懸念

各業種から、業況の悪化に伴う更なる先行き不安を訴える声が寄せられている。建設業からは、「かつては市内最大手であった建設業者が9月に事業停止となるなど、業界の状況はますます悪化しており、今後も倒産する会社が発生する見込み」（渋川・一般工事業）、「一部企業の不良債権発生により、生コンクリート代金の支払いを現金で求められるなど、今後の資金繰りの悪化を懸念」（金沢・建築工事業）、製造業からは、「今月は受注の若干の回復を期待したものの、一向にその気配は感じられず、今後の見当も全くつかず、先行きが不安」（半田・織物製造業）、「材料仕入れ単価の高騰が続く一方、受注の減少は今後も続く見込み」（島田・建具製造業）、「昨年からの地元大手商社の倒産が続き、今後は販路が狭まり、より厳しい状況となる見込み」（多治見・陶磁器・同関連製造業）との声が寄せられている。

○ 仕入コストの更なる上昇

各業種から、原材料価格の高騰に伴う仕入コストの更なる上昇を訴える声が寄せられている。建設業からは、「プラスチック価格が引き続き高騰しているため、製造コストが上昇。一部は販売価格に転嫁しているが、全てに転嫁できず厳しい経営環境が続いている」（土別・一般工事業）、「原材料価格の上昇に対し、競争激化に伴う受注価格の低下により、採算が悪化」（米子・一般工事業）、製造業からは、「原材料の価格高騰分を吸収するため値上げを実行するも、利益圧迫は避けられない見通し」（横浜・他の食料品製造業）、「10月から、包装用紙・インク・材料等の値上げが予定されており、今後も厳しい状況」（鶴岡・印刷業）との声が寄せられている。また、サービス業からも、「今後はイベント開催により来客数は増加の見込みも、仕入価格等の諸経費上昇により、収益確保は厳しい状況」（静岡・旅館）といったコメントが寄せられている。

○ 消費意欲の低下

原油価格の高騰や、食料品をはじめ各種商品の物価上昇に対する不安感から、消費者の購買意欲の低下による売上悪化などの影響を挙げる声も寄せられている。小売業からは、「個人消費は相変わらず低迷、目的の物以外は買わないなど生活防衛が感じられる」（酒田・百貨店）、「生活必需品価格の高騰が影響し、買い控えは今後も続く見込み」（神戸・百貨店）、「8月のバーゲンセールは好調であったが、その後は節約ムードが強まっており、個人消費は鈍化している」（金沢・商店街）、サービス業からは、「一般消費者に加え、企業等の来客も減少」（野田・すし店）、「食品偽装問題などに対する不安から、消費者に外食を控える傾向があり、売上が悪化」（唐津・一般飲食店）といったコメントが寄せられている。

【景気キーワードの推移】

年 月	景気キーワード		
08年 7月	更なる悪化への懸念	仕入コストの更なる上昇	消費意欲の低下
8月	更なる悪化への懸念	仕入コストの更なる上昇	消費意欲の低下
9月	更なる悪化への懸念	仕入コストの更なる上昇	消費意欲の低下

※景気キーワードは、調査対象組合の各月におけるトピック・関心事項などに関する自由回答をまとめたもの。

※本文中の（ ）内は、(地名・業種)を示す。

【産業別概況】

産 業	概 況
建 設	業況D Iはマイナス幅がほぼ横ばい、売上D Iは2カ月ぶり、採算D Iは2カ月連続で拡大した。「公共工事の大幅な減少に加え、民間工事は受注単価が低く、収益確保は厳しい状況」、「大手企業の相次ぐ倒産の影響で、中小企業、特に建設業界に対する銀行の融資姿勢が大変厳しくなった」（ともに一般工事業）、「公共工事削減による建設市場の縮小に加え、競争入札制度導入による受注単価の下落で売上は激減」（塗装工事業）、「業界全体が不況で、特に中小企業への金融機関の貸し渋りが広がる」（電気工事業）といった声が寄せられている。
製 造	業況D Iは2カ月ぶり、売上D Iは6カ月連続、採算D Iは7カ月連続でマイナス幅が拡大した。「収益の悪化に加え、銀行の貸し渋りもあり、資金繰りがかなり厳しい状況」（パン・菓子製造業）、「原材料価格が上昇するなど業況は厳しいが、売上も悪化しているため、製品価格を値上げできない状況」（他の食料品製造業）、「秋冬物の最盛期にもかかわらず、受注は激減」（ニット・シャツ製造業）、「主な取引先は輸出が大きなウェイトを占めているため、円高および海外市場の動向により厳しさを増しており、仕事量の減少が顕著になっている」（金属加工機械製造業）といったコメントが寄せられている。
卸 売	業況D I、売上D I、採算D Iともに4カ月ぶりにマイナス幅が縮小した。「酒類の仕入価格の上昇が続く一方、販売価格への転嫁は難しく、収益が悪化」、「ガソリン価格の高騰により、自動車での旅行者数が減少しており、秋の観光シーズンもあまり期待できない状況」（ともに各種商品卸売業）、「衣料品に対する消費マインドの低下により、今後の市場の縮小を懸念」（衣服・日用品卸売業）、「ガソリン価格や、小麦・食用油等の価格上昇の影響により、果物、鮮魚の売上が悪化」（農畜産水産物卸売業）、「大手同業者が9月上旬に破産するなど、業界の経営状況は深刻」（家具・建具等卸売業）といった声が寄せられている。
小 売	業況D I、採算D Iは2カ月連続でマイナス幅が拡大、売上D Iは2カ月ぶりに縮小した。「必要なものしか買わないという傾向が、衣料品や住居関連だけでなく、食品にも及んできている」、「高額品だけでなく、最近では衣料品の売上鈍化が顕著」（ともに百貨店）、「生活防衛による消費者の姿勢は慎重で、今後の収益確保は厳しい見通し」（その他の小売業）、「消費者の先行き不安に伴う消費の収縮により、売上単価・件数ともに前年同月比2割以上の減少」、「食料品価格の上昇に加え、電気・ガス等の公共料金の値上げ予告もあり、先行き警戒感からか、消費者の購買意欲を全く感じない」（ともに商店街）といった声が寄せられている。
サービス	業況D I、売上D I、採算D Iともに2カ月ぶりにマイナス幅が拡大した。「食材の仕入価格の上昇など、業況が好転する材料が全くなく、廃業の発生を懸念」（一般飲食店）、「仕入価格の上昇や、来客数の減少、売上の悪化が連鎖し、資金繰りも悪化」、「ビジネス客の減少に加え、宴会等も少なく、収益が悪化」（ともに旅館）、「先行きが不安定のため、設備投資も難しい状況」（理容）、「自動車販売台数の低迷に加え、競争の激化や製品価格の上昇により、経営が厳しい状況」（自動車整備）といった声が寄せられている。

(参考)

【ブロック別概況】

○ ブロック別の業況D I（前年同月比ベース）は、北陸信越では低水準で推移する一方、他の8ブロックは拡大した。また、全ブロック合計は2カ月ぶりにマイナス幅が拡大した。

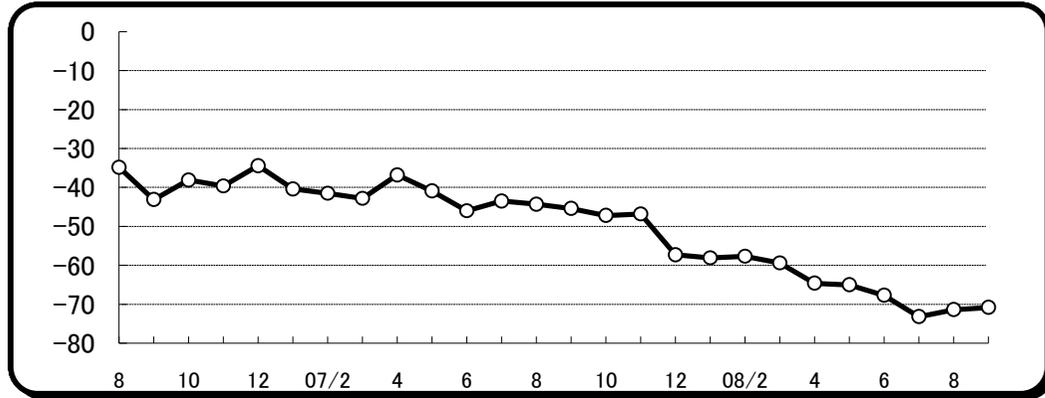
○ ブロック別の向こう3カ月（10月～12月）の業況の先行き見通しは、昨年同時期と比べて、すべてのブロックで悪化している。

ブロック別・全産業業況D I（前年同月比）の推移

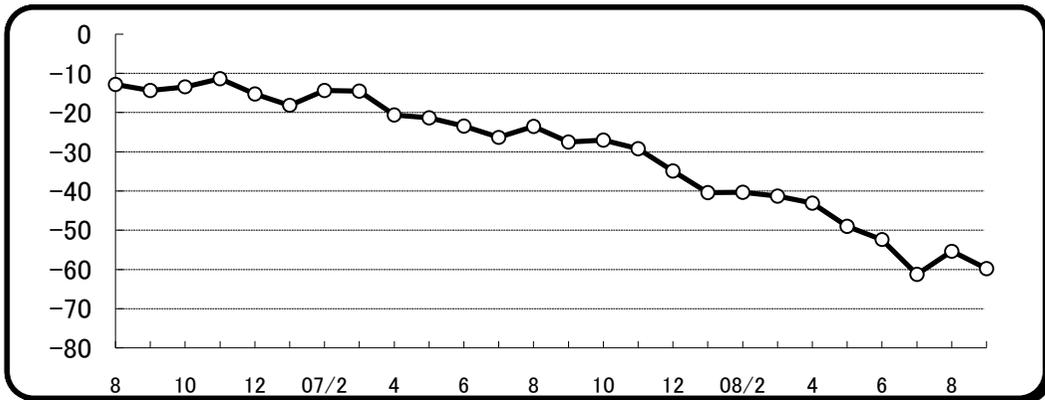
	08年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	先行き見通し 10～12月
全 国	▲ 50.4	▲ 52.9	▲ 56.0	▲ 60.5	▲ 58.8	▲ 61.2	▲ 54.6 (▲ 27.1)
北 海 道	▲ 55.0	▲ 56.7	▲ 56.2	▲ 64.1	▲ 55.2	▲ 56.1	▲ 56.1 (▲ 32.7)
東 北	▲ 54.3	▲ 51.3	▲ 59.7	▲ 65.7	▲ 66.7	▲ 68.7	▲ 59.5 (▲ 35.6)
北陸信越	▲ 47.6	▲ 52.4	▲ 55.4	▲ 54.1	▲ 54.7	▲ 52.7	▲ 47.0 (▲ 26.5)
関 東	▲ 46.5	▲ 51.2	▲ 56.0	▲ 61.9	▲ 59.2	▲ 60.7	▲ 55.3 (▲ 23.4)
東 海	▲ 45.8	▲ 47.8	▲ 56.7	▲ 56.0	▲ 54.4	▲ 58.9	▲ 53.5 (▲ 28.6)
近 畿	▲ 49.6	▲ 55.2	▲ 57.9	▲ 64.3	▲ 64.5	▲ 69.4	▲ 61.6 (▲ 25.2)
中 国	▲ 62.0	▲ 57.1	▲ 56.2	▲ 59.2	▲ 55.1	▲ 60.0	▲ 50.8 (▲ 33.1)
四 国	▲ 50.4	▲ 54.2	▲ 50.4	▲ 62.4	▲ 56.9	▲ 60.6	▲ 48.1 (▲ 28.5)
九 州	▲ 53.1	▲ 53.5	▲ 55.2	▲ 55.0	▲ 58.6	▲ 60.3	▲ 53.8 (▲ 21.7)

# 業況DI（前年同月比）の推移（全国）

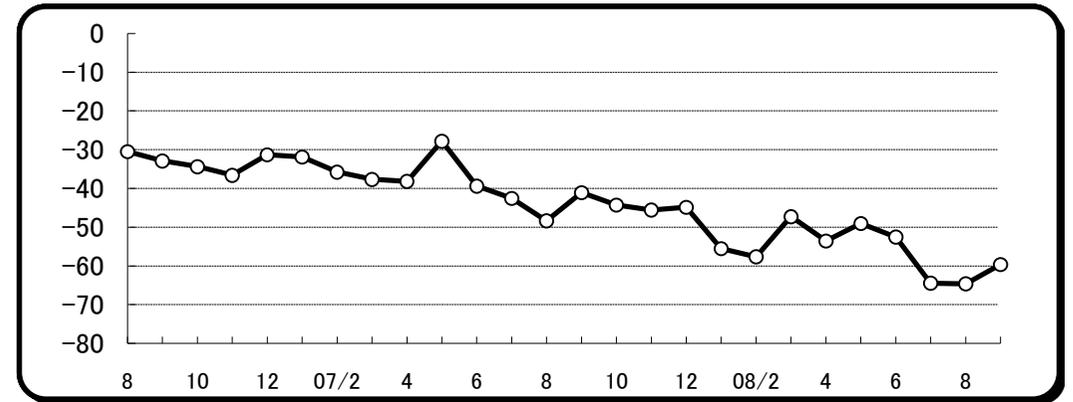
## 建設業



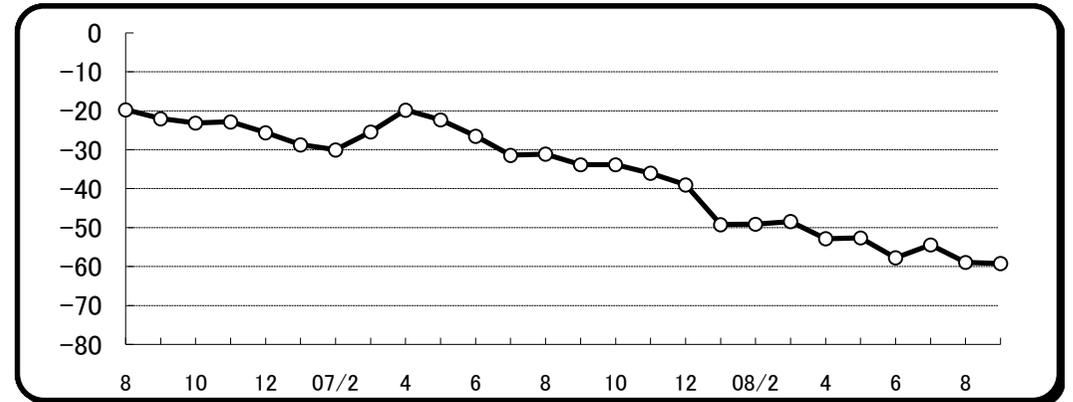
## 製造業



## 卸売業



## 小売業



## サービス業

